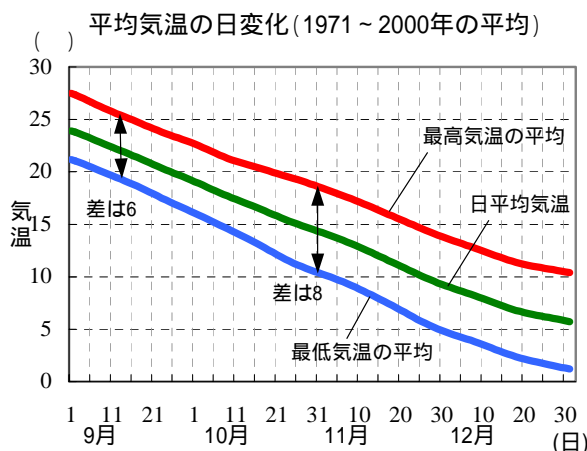


日 立 の 気 象 1 1 6

南岸低気圧による秋の大雨

暑さ寒さも彼岸までというように、秋分を過ぎると残暑もおさまるとされています。日立市における平均気温の推移を見ると、8月の下旬になって下がり始めた気温は、9月に入ると一段と下がり方が大きくなり、9月の20日には平均気温が20を下回るようになります。その後も、1週間で約1 ずつ気温が下がっていき、10月の終わりには14 近くまで気温が下がります。

最高気温と最低気温の平均も同じように下がっていきます。しかし、その差を見ると9月の半ばには6 近くであった差が、10月に入るとしだいに大きくなり、10月の終わりには8 近くまで広がって昼間と朝晩の気温の差が大きくなり感じられるようになります。その後も差は広がっていきませんが、12月には9 近くでほぼ一定になります。



このように、10月はシベリア高気圧の発達に伴い寒気が南下してくるようになり、寒暖を繰り返しながら気温は下がっていきます。暖かい空気が残っているところへ寒気が入ってくると、時として低気圧が急速に発達して大雨をもたらすことがあります。1999年10月27日には、低気圧が急速に発達しながら本州南岸を北東へ進み、日立市役所では20時14分から1時間に88mmの非常に激しい雨が降り、床上浸水69戸などの大きな被害をもたらしました。

天気相談所が観測を始めた1953年から2007

年までの日降水量が100mmを超えた日数を月別に調べてみると、10月は10日あり1年で最も多くなっています。10月も半ばを過ぎると晴れる日が増えてきますが、急速に発達する低気圧の影響で天気が急に崩れて大雨に見舞われるときがあるので注意が必要です。

【10月の暦と気象記録】

8日、寒露(秋が深まり野草に冷たい露がむすぶ)

23日、霜降(霜が降りるころ)

1999年10月12日:日最高気温30.3

(真夏日の最も遅い記録)

2002年10月1日:日最大瞬間風速32.0m/s

(観測記録順位第7位、台風第21号)

1999年10月27日:最大1時間降水量88.0mm

(観測記録順位第1位、発達した低気圧)

【関東甲信地方の10月の予報】

季節予報では、天気は数日の周期で変わりますが、南から暖かい空気が入り気温は高いと予想されています。降水量は、平年並みから多いと予想されます。

10月の気温、降水量の階級確率(%)

気 温 20 30 50

低い 平年並 高い(単位:%)

降水量 30 30 40

少ない 平年並 多い

10月の気象観測値(日立市役所)

項目	2007年	平年値
平均気温()	17.1	16.6
降水量(mm)	164.0	159.2
日照時間(時間)	165.0	152.5

平年値(1971~2000年の30年間の平均)

日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話22-5520 IP電話050-5528-5066へどうぞ。